

今金町から皆様へ重要なお知らせ 第23号

新型コロナウイルスワクチン接種について

▶オミクロン株対応ワクチンの接種開始時期について



オミクロン株対応ワクチンの接種が始まります！

Q1 接種はいつから始まりますか？

A 今金町の接種開始時期は10月12日からを予定しています。お手元に接種券が届きましたら、予約案内に従って接種日をコールセンターもしくはLINEで予約してください。予約は10月3日から受付を開始しています。

Q2 オミクロン株対応ワクチンの対象者は？

A 初回接種（1・2回目）を完了した、12歳以上のすべての方が接種の対象となります。お手元に3回目又は4回目接種券をお持ちの方は、その接種券を使用して、オミクロン株対応ワクチンを接種できます。4回目接種済みの方は順次接種券を発送いたしますのでお待ちください。

Q3 接種できる医療機関は？

A 今金町国保病院、今金診療所、岩間医院で実施します。また、接種状況によっては、集団接種も検討しておりますのでスケジュールが決定次第お知らせいたします。

Q4 新型コロナウイルスワクチンの接種間隔は？

A R4.9.14 現在、オミクロン株対応ワクチンの接種については前回接種から5か月間の期間を空ける必要があります。

（今後接種間隔が短縮される可能性があります。）

インフルエンザワクチン以外のその他ワクチンとの接種間隔は原則2週間をあける必要がありますので、確認の上ご予約ください。

Q5 オミクロン株対応ワクチンの種類は選べますか？

A

選ぶことはできません。接種時期に供給されるワクチンを接種することとなります。

Q6

オミクロン株対応ワクチンを初回接種（1・2回目）として打てますか？

A

現段階で追加接種として臨床試験がなされており、追加接種の用法で薬事承認されているため、初回接種（1・2回目）として打つことはできません。
初回接種は引き続き従来のワクチンを使用します。

Q7

小児（5～11歳）の追加接種はなぜ必要ですか？

A

オミクロン株の流行下で小児の重症者数が増加傾向にあり、初回接種による発症予防効果が時間とともに低下することから追加接種（3回目）が推奨されています。また、一定の科学的知見が得られたことから、小児についても努力義務の規定を適用することが妥当と判断されました。ただし、接種は強制ではなく、ご本人や保護者の判断に基づいて受けていただくことにより変わります。

▶今金町の予防接種実施率（令和4年10月3日現在）

	1回目	2回目	3回目
5歳以上	93.5%	93.1%	82.5%

	4回目
12歳以上	49.1%

●接種のスケジュールや予約等のお問合せは今金町新型コロナワクチンコールセンターまで（83-8085）

●1・2回目接種を希望される方についても随時受付しておりますので、お気軽に今金町新型コロナワクチンコールセンターへご連絡ください。

○接種後の体調や副反応に関する相談は、北海道新型コロナワクチン接種相談センター（TEL：0120-306-154）毎日9:00～17:30

○ワクチン接種に関する相談全般、ワクチンの基本的な情報等は、厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター（TEL:0120-761-770）毎日9:00～21:00

発行：今金町新型コロナウイルス感染症対策本部 新型コロナウイルスワクチン接種推進部会
担当：今金町保健福祉課 健康づくりグループ（電話 0137-82-2780）

▼[今金町における新型コロナワクチン接種に関する問い合わせはコチラ](#)▼

今金町新型コロナワクチンコールセンター TEL 0137-83-8085（平日8:30～17:15まで）

〈 新型コロナワクチン接種 〉

オミクロン株に対応した 2価ワクチンの接種が開始されます。

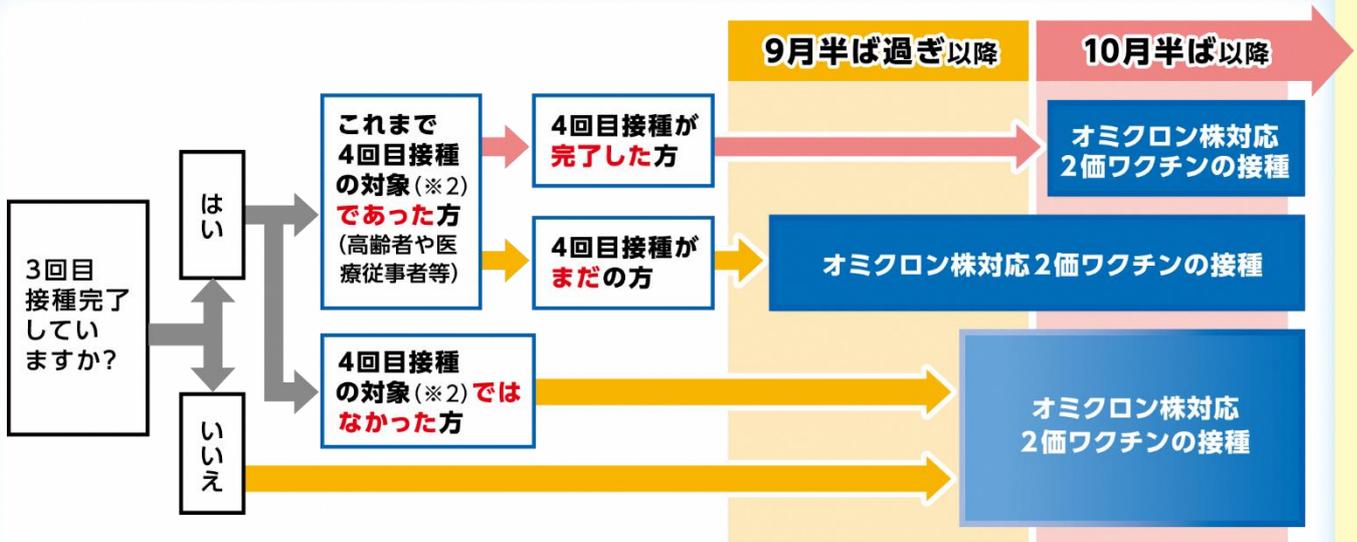
年内に、希望する全ての方が接種するのに十分な量のワクチンを供給しますので、一時的に予約が取れなくても、安心してお待ちください。

順次、市町村から案内がありますので、ぜひ接種をご検討ください。

オミクロン株対応2価ワクチン接種対象と接種開始時期

- 新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン（「オミクロン株対応2価ワクチン」）の接種は、**初回（1・2回目）接種を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種できます。**
- 4回目接種の対象者で接種を受けていない方を優先して接種を始めますが、予約に空きがあれば、初回接種を完了した12歳以上で最終接種から5か月（※1）以上経過している方は接種可能です。
（※1）2022年9月14日時点。接種間隔の短縮等について検討し、10月下旬までに結論を得る予定です。
- 詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

接種対象：初回接種（1・2回目接種）が完了している方



（※2）3回目接種終了から5か月が経過し、

①60歳以上の方 ②18歳以上で基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ③医療従事者等及び高齢者施設等の従事者など

初回接種（1・2回目接種）がまだの方

従来型ワクチン(※3)による接種を完了してください。

接種から5か月が経過した後に、オミクロン株対応2価ワクチンを追加接種することが可能になります。

（※3）新型コロナの従来株に対応した1価ワクチン



使用するワクチン



オミクロン株対応2価ワクチン	1・2回目接種対象者	3回目以降の接種対象者		
		12歳以上	12歳以上	18歳以上
ファイザー社ワクチン	×（使用不可）	12歳以上	○	○
モデルナ社ワクチン	×（使用不可）	18歳以上	×	○

■ 2022年9月時点では、オミクロン株対応2価ワクチンは、11歳以下は接種対象となりません。

これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。2022年の年末までに、重症化リスクの高い高齢者等のもとより、若い方にもオミクロン株対応2価ワクチンによる接種を完了するようおすすめします。

〈日本国内の新規感染者数(1日ごと)〉



オミクロン株対応2価ワクチンの効果

■ 従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果が期待されています。

オミクロン株対応ワクチンの追加接種には、オミクロン株の成分が含まれるため、従来型ワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果、感染予防効果、発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

そのため、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る**重症化予防効果**とともに、**持続期間が短い可能性があるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されています。**

■ 2価のワクチンであることにより、様々な新型コロナウイルスに反応します。

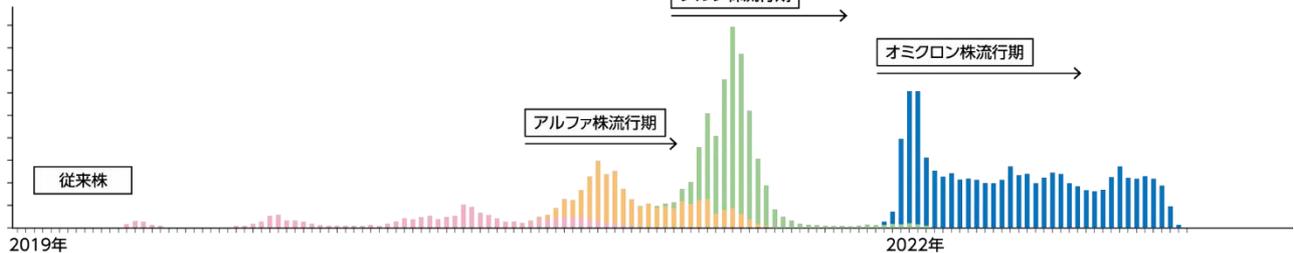
異なる2種類の抗原があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性**がより高いことが期待されています。

(※4) 2022年8月現在の科学的知見を踏まえた専門家の議論をもとに記載しています。今後、知見の蓄積等によりアップデートされる可能性があります。

出典：新型コロナワクチンの製造株に関する検討会 第二次取りまとめ

〈日本における新型コロナウイルス変異株の変遷(イメージ)〉



オミクロン株対応2価ワクチンの安全性

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、**どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られました。**

発現割合	接種後7日間に現れた症状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10~50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節症	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1~10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

出典：特例承認に係る報告書より改編

◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎ 予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。